



2018年

5月

中国四国農政局
岡山県拠点

News Letter

岡山の夏野菜「^{とうがん}冬瓜」産地“牛窓”の取組

～ 出荷量全国第3位のわけ ～

岡山県内では馴染みの薄い「冬瓜」。実は、県内出荷量1,724トン（H26）は全国第3位。市町村別出荷量で全国第1位の瀬戸内市では、約40年前から同市牛窓町を中心に冬瓜の栽培が始まっており、産地形成やブランド化のための取組が行われています。

野菜の産地“牛窓”では

牛窓町では、作業労力の分散、収入確保に繋げるため、冬瓜を含め様々な野菜を栽培しています。（例えば、出荷ピークを 5月上旬：白菜→5月下旬：キャベツ→6月：そうめん南瓜→7・8月：冬瓜 と分散）

冬瓜は、瀬戸内の気候が栽培に適していることと、元々カボチャの栽培が盛んで、つる野菜の栽培技術があったことにより、7・8月に出荷できる作物として栽培が始まりました。

同町では、野菜の複合経営により収入が確保できることと、近隣の農業者が技術指導を行ってくれることにより、地区外からの新規就農者が増えています。そして、経験を積んだ就農者が産地の中核となり、次の新規就農者の技術指導を行ったり、新規就農ならではの悩みの相談に乗ったりと、参入しやすい流れもできてきています。

長期保存可能で“冬までもつ瓜”ということで冬瓜と名付けられたそうです。
「7月10日は冬瓜の日」



冬瓜の栽培はほとんどが手作業。特に収穫については、夏の暑い中、1玉約3kgもある冬瓜を大切に受け渡しています。

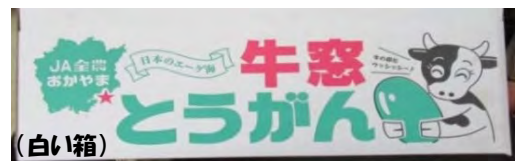


★大きさ☆
大きいものでは、長さ80cm重さ10キロ以上にもなる
★効能☆
むくみ・便秘解消、肥満予防・ダイエット効果、高血圧予防 等

JA岡山牛窓夏野菜部会では

JA岡山牛窓夏野菜部会では、冬瓜の品質保持のため、出荷規格（1箱3玉で10キロ）や防除基準を定めています。

また、それまで良品は一般品と同じ茶色の箱を使用していましたが、白色の箱で出荷し、市場での差別化を図っています。



このような取組だけでなく、部会生産者の努力による作付面積の維持が図られ、安定出荷が行われることにより、牛窓の冬瓜はブランド化され、出荷量は全国第3位になりました。

岡山県では、冬瓜を食べる習慣がなく、県内での消費が伸び悩んでいる状況です。

今後も引き続き冬瓜のPRを行い、県内での消費拡大に取り組むとともに、産地を維持・発展させるため、新規就農者に地域ぐるみで協力し、入ってきたいと思えるような産地づくりを目指していきたいとのことでした。

【JA岡山牛窓夏野菜部会のお問い合わせ】
JA岡山瀬戸内営農センター TEL：0869-22-1212

写真提供 瀬戸内市役所

インフォメーション

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第4回選定応募団体） 取組事例集を発刊

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国へ発信しているものです。

中国四国農政局では、この度、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第4回選定応募団体）取組事例集を発刊しました。

この取組事例集は、農山漁村地域の活性化・所得向上の取組事例を広く情報発信し、地域活性化を図る際の参考としてご活用いただくとともに、都市と農山漁村の交流等に資することを目的として作成したもので、昨年度の各地での優れた地域活性化の事例（管内170事例余り）を掲載しております。



★詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html#jirei29>

「飼料用米多収日本一」コンテストを開催します

飼料用米生産農家の生産技術の向上を図るため、多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰する「飼料用米多収日本一」を本年も開催します。

参加できる方は、平成30年産飼料用米の生産において、多収品種を作付けし、かつその生産面積がおおむね1ヘクタール以上で、収穫量向上と生産コスト低減に取り組む方です。

成績優秀者には農林水産大臣賞をはじめ、各種の褒章が授与されます。また、中国四国農政局においても中国四国地域でその取組が優良と認められる経営体の表彰を行います。

参加の申込は、平成30年5月1日から平成30年6月29日までに、ブロック事務局（中国四国農政局生産部生産振興課）までお願いします。



★詳しくはこちらをご覧ください。

「飼料用米多収日本一」表彰事業紹介ページ（一般社団法人日本飼料用米振興協会ホームページ）

<http://www.j-fra.or.jp/new1.html>

「飼料用米多収日本一」（中国四国農政局ホームページ）

<http://www.maff.go.jp/chushi/seisan/kome/tasyunihon.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0927 岡山市北区西古松2丁目6-18 西古松合同庁舎

TEL (086) 899-8610 (内線 113) FAX (086) 899-8611 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>